

# 留学より修得した単位認定 手続きマニュアル



平成27年5月  
東京外国語大学教務課

# もくじ

- 単位認定申請チャート ……3
- 単位認定申請書記入のポイント ……4
- 別紙1・別紙2記入のポイント ……5
- 別紙1記入例 ……6
- 別紙2記入例 ……7

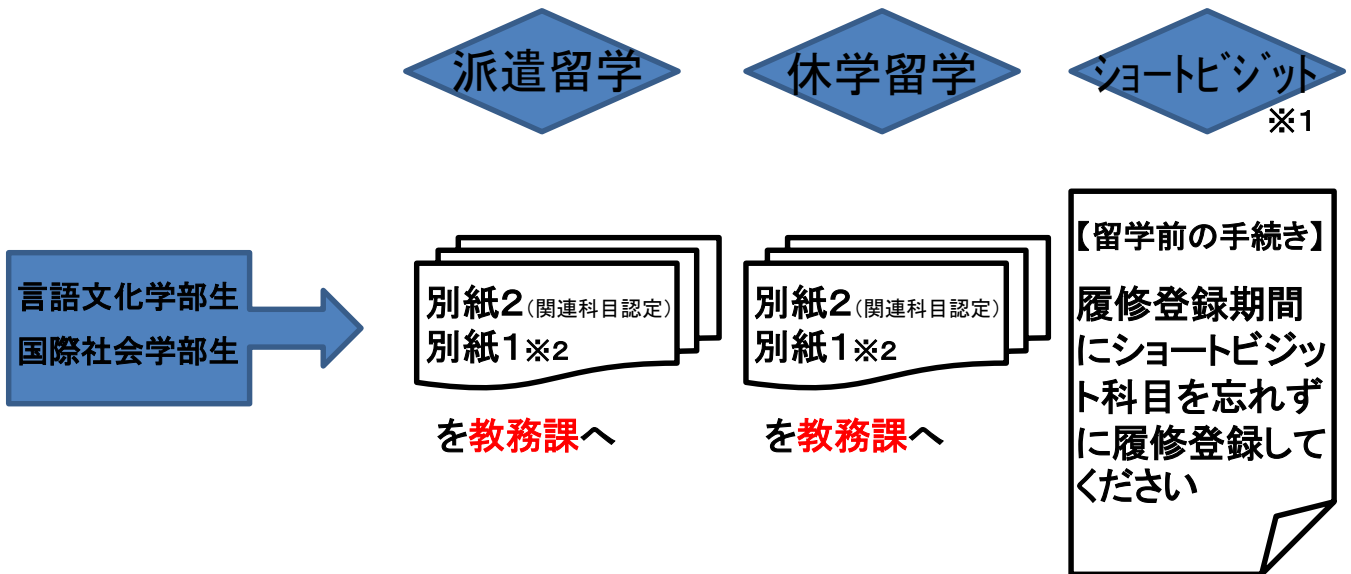
## 添付資料

1. 専攻語・地域言語代表教員一覧 地域代表教員一覧

# 留学後の手続き

～単位認定申請希望者のみ～

単位認定申請をする場合は単位認定申請書と振替認定用紙(別紙1)もしくは関連科目認定用紙(別紙2)を併せて提出します。別紙1と別紙2のどちらを提出すればよいかは下記チャートを参考にしてください。



※1 単位認定対象者は卒業を予定する第4年次冬学期(9月卒業申請者は夏学期)のプログラム参加者を除きます。

※2 科目区分・授業内容が本学の開講科目と同一であると判断できる科目は別紙1を使います。その場合は振替認定となります。

## その他全員に共通して必要な書類

- 成績証明書(原本)
- 成績の基準がわかる資料
- 各授業のシラバス
- 履修時間がわかる資料

別紙1もしくは別紙2、成績証明書、シラバスにはどれがどの授業に対応しているのかがわかるように番号をふってください。

書類の記載が英語以外の言語の場合はそれぞれ日本語訳をつけてください。

一度申請に利用した成績証明書は返却出来ません。手元に残しておきたい人は留学先大学に問い合わせてください。

成績証明書に履修時間数が明記されていない場合は  
「1時限あたりの授業時間 × 全体のコマ数 = 総時間数」  
という式を授業ごとに記載してください。【例】2時間 × 15回 = 30時間

# 単位認定申請書記入のポイント

(様式3)

## 単位認定申請書

平成 年 月 日

東京外国語大学長 殿

所属学部	国際社会学部
学籍番号	6100302
学科・課程	国際社会学科
地域/言語・専攻語	オセアニア/英語
学年	3 年
氏名	外語 太郎 印
現住所	〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 TEL: 090-1234-5678 Mail: gaigo_taro@tufs.ac.jp
指導教員名	印

私は下記の大学に留学しましたので、当該大学で修得した単位を本学の単位として、別紙1・2のとおり認定願います。

### 記

大学名	アデレード大学
国名	オーストラリア
留学期間 (西暦)(入学許可を受けた期間)	2017年 9月～ 2018年 6月

※単位認定の申請は帰国後1年以内であること。

注意: 留学先大学の成績証明書、講義内容が記載されたもの及びその他を和訳したものを添付すること。

この申請書で知り得た情報は、学生本人の確認及び連絡、教員への連絡、学生身分の異動確認、留学先データの確認、認定単位データの追加、成績管理データの追加に限り使用します。

※●●語圏の大学で、●●語話者のための日本語授業の単位認定は出来ません。

※単位認定は留学期間が終了し、留学先の成績評価が出され次第、速やかに申請してください。申請は1回の留学につき1回とし、帰国後1年以内が期日です。

※言語科目への振替えは1言語につき10単位が上限です。

※認定不可であった場合に備えて、同科目を履修登録しておくことは可能です。単位認定された場合その科目については履修削除となります。また申請する年度内に既に修得している科目は申請できません。

※派遣留学の単位の認定は、言語文化学部、国際社会学部の学生は、総履修時間数に応じて「関連科目」の単位として認定する。ただし、科目区分、授業内容が同一であると判断できる授業科目については本学で開講されている授業科目に振り替えて単位を認定することができます。

※申請できる科目は、申請年度に開講されている科目のみです。過年度の科目は申請できません。

※授業時間数について実時間数による計算で30時間に満たない場合、アカデミックアワー(90分=2時間)による計算が可能。

# 別紙1・別紙2記入のポイント

別紙1を使用する人

P12・13の記入例も参考にしてください。

各学部休学留学、外国語学部の派遣留学、言語文化学部・国際社会学部の派遣留学生で科目区分・授業内容が本学の開講科目と同一であると判断できる科目を申請する学生が使用します。

(別紙1) 振替認定用

学籍番号	学部	地域言語・専攻語	氏名					
留学先大学で履修した科目及び履修時間数		本学の単位として認定を希望する科目		本学の単位として				
科目区分	科目	履修時間数	科目名(履修コード) 担当教員名	単位数	認定単位数又は認定不可	履修時間確認(算定方法)	地域言語代表教員氏名・承認印	授業担当教員氏名・承認印
科目区分認定基準	言語科目: 言語習得を目的とする授業科目 言語科目: 60時間=2単位、30時間=1単位	講義科目: 言語科目以外の授業科目 講義科目: 60時間=4単位、30時間=2単位						

「本学の単位としての認定の可否」は、留学先大学で使用されている言語に対応した地域言語代表教員が記入し、署名、押印をしてください。専門分野の授業担当教員が判断をした場合、その教員が、署名、押印をしてください。

**留意事項**  
振替認定では、留学先で履修した授業科目ごとに認定を行う。1科目の授業時間数が30時間に満たないものについては、振替認定できない。同一授業科目を複数の授業科目区分にわたり単位を認定することはできない。

Point!!

認定を希望する全科目分、地域言語代表教員または専攻語代表教員からサイン・押印をもらいます。言語科目以外は加えてその科目の専門分野の授業担当教員のサインと押印が必要です。

Point!!

各科目に番号をふり、それに対応する成績証明書やシラバスにも同じ番号を記入してください。科目欄には授業科目名を書いてください。授業題目名ではありません。

Point!!

留学先で使用されている言語に対応した地域言語代表の先生に記入してもらいます。

(別紙2) 関連科目認定用

学籍番号	学部	地域/言語・専攻語	氏名			
留学先大学で履修した科目及び履修時間数			本学の単位としての認定の可否			
科目区分	科目	履修時間数	総履修時間数	認定単位数	地域言語代表教員氏名・承認印	指導教員氏名・承認印

認定基準  
「言語科目」: 30時間=1単位  
「講義科目」: 15時間=1単位  
言語科目単位数=言語科目  
講義科目単位数=講義科目

科目区分 言語科目: 言語習得

「本学の単位としての認定の可否」は、指導教員が判断をした場合、その教員

**留意事項**  
関連科目認定では、留学先で履修した授業科目の各履修時間数を科目区分に従って合計し、認定基準に基づき、総単位数で認定する。単位認定上限は学部ごとに設定されており(言語文化学部: 関連科目18単位 国際社会学部: 関連科目16単位)、上限を超えて単位を認定することはできない。

Point!!

地域言語代表教員および指導教員の両方にサイン・押印をもらいます。

記入例

(別紙1)振替認定用

学籍番号	6100302	学部	国際社会学部	地域/言語・専攻語	オセアニア/英語	科目区分	言語科目1	担当者	外語 太郎
科目名	履修時間数(算出方法)	時間割コード	履修時間	担当教員名	単位数	履修時間確認(算定方法)	認定可否	地域言語代表教員署名・承認印	専門分野の授業担当教員署名・承認印
1 講義科目	English for Academic purposes	1時間×24回、 2時間×6回 合計36時間	411032	ヨーロッパ・アメリカ言語研究A	2	1時間×24回、 2時間×6回 合計36時間	可	英語の地域言語代表教員	授業の担当教員
2 言語科目	会話練習	1.5時間×40回 =60時間	120112	地域言語A(英語Ⅲ-4)	1	1.5時間×40回 =60時間	可	英語の地域言語代表教員	
3 言語科目	Stylistics	1時間×15回 =15時間	120111	地域言語A(英語Ⅲ-4)	1	1時間×15回 =15時間	可	英語の地域言語代表教員	
	Introduction to Japanese Cinema	1時間×15回 =15時間				1時間×15回 =15時間	可	英語の地域言語代表教員	
4 言語科目	Chinese	2時間×15回 =30時間	152112	教養外国語(中国語A2)	1	2時間×15回 =30時間	可	英語の地域言語代表教員	中国語の地域言語代表教員
5 科目認定	<p>留学先で修得した授業の履修時間数が30時間に満たさず複数科目を合算して本学の授業1科目として認定する場合、合算する科目は「科目名が同じである」「同一カテゴリ」または「内容的に連続したもの」でなければなりません。認定の可否については、教員の指示を仰いでください。 ※本学の同一カテゴリ：同一の学部、科目分類、言語、地域コース</p>								
6 「ズ	<p>留学先で履修した1つの科目を本学複数科目に認定する場合、本学で認定する科目は「科目名が同じである」「同一カテゴリ」または「内容的に連続したもの」でなければなりません。認定の可否については、教員の指示を仰いでください。 ※本学の同一カテゴリ：同一の学部、科目分類、言語、地域コース</p>								

科目区分を選ぶと言語科目1単位、講義科目2単位が自動で入力されるようになっているが、本学開講科目が例外的に上記単位数でない場合は自身で半角数字にて入力のこと

日本語または英語で入力(英数半角)

履修時間が分かるよう、具体的な数式を用いて入力(英数半角)  
【例】●時間×▲回=■時間  
等

シラバス、成績証明書等にも同じ番号をふる

半角数字で入力  
時間割コードを入力すると科目名・担当教員名・単位数が自動で入力される。自動入力されない場合は、自身で入力すること。

留学先で修得した授業の履修時間数が30時間に満たさず複数科目を合算して本学の授業1科目として認定する場合、合算する科目は「科目名が同じである」「同一カテゴリ」または「内容的に連続したもの」でなければなりません。認定の可否については、教員の指示を仰いでください。  
※本学の同一カテゴリ：同一の学部、科目分類、言語、地域コース

留学先大学で履修した1つの科目を本学複数科目に認定する場合、本学で認定する科目は「科目名が同じである」「同一カテゴリ」または「内容的に連続したもの」でなければなりません。認定の可否については、教員の指示を仰いでください。  
※本学の同一カテゴリ：同一の学部、科目分類、言語、地域コース

留学先の言語に対応した地域言語代表教員のサイン及び押印をもらう。

本学で認定する科目が地域言語代表教員の専門外である場合に当該専門分野の教員にサイン及び押印をもらう。

専門分野の授業担当教員が判断をした場合、その教員が、署名、押印をしてください。  
履修時間が分かるよう、具体的な数式を用いて記入(英数半角)【例】2時間×15回=30時間

留意事項

振替認定では、留学先で履修した授業科目ごとに認定を行う。1科目の授業時間数が30時間に満たないものについては、原則振替認定できない。

(別紙2) 関連科目認定用

学籍番号	6100302	学部	国際社会学部	地域/言語	オセアニア/英語	学年	3	氏名	外語 太郎
------	---------	----	--------	-------	----------	----	---	----	-------

留学先大学で履修した科目		
科目区分	科目名	履修時間数 (算出方法)
関1	言語科目 Poetry	3時間 × 13回 = 39時間
関2	言語科目 Basic Persian I	2時間 × 20回 = 40時間
関3	講義科目 地政学	1.5時間 × 40回 ÷ 60時間
関4		
関5		

日本語または英語で入力  
(英数半角)

履修時間が分かるよう、具体的な数式を用いて入力(英数半角)  
【例】  
●時間 × ▲回 = ■時間 等

教員記入欄				
認定 位数	地域言語代表教員 署名・承認印	指導教員 署名・承認印		
2	英語の地域言語 代表教員	指導教員		
4	英語の地域言語 代表教員	指導教員		

認定基準 言語科目 : 30時間 = 1単位 講義科目 : 15時間 = 1単位  
※小数点以下は切り捨て

留学先で修得した授業の履修時間数が30時間に満たさない場合は、「科目名が同じである」「同一カテゴリ」または「内容的に連続したもの」でなければなりません。

言語科目単位数 = 言語科目の総履修時間数 ÷ 1800分 (= 30時間)  
講義科目単位数 = 講義科目の総履修時間数 ÷ 900分 (= 15時間)

科目区分 言語科目: 言語習得を 言語科目以外の授業科目

「本学の単位としての認定の可否」を判断した指導教員が、その教員が、署名、押印をしてください。

**留意事項**

関連科目認定では、留学先で履修した授業科目の各履修時間数を科目区分にしたがって合計し、認定基準に基づき、総単位数で認定する。また各学部が定める関連科目の卒業所要単位数(入学年度による異なる)を超えて単位を認定することはできない。

## ◆ 2022年度 専攻言語代表（等）教員 一覧

区 分	専攻言語代表教員
英語	伊東 剛史
ドイツ語	西岡 あかね
フランス語	芹生 尚子
イタリア語	小久保 真理江
スペイン語	久野 量一
ポルトガル語	武田 千香
ロシア語	匹田 剛
ポーランド語	森田 耕司
チェコ語	金指 久美子
中国語	三宅 登之
朝鮮語	五十嵐 孔一
モンゴル語	青木 雅浩
インドネシア語	降幡 正志
マレーシア語	左右田 直規
フィリピン語	山本 恭裕
タイ語	宮田 敏之
ラオス語	鈴木 玲子
ベトナム語	野平 宗弘
カンボジア語	上田 広美
ビルマ語	岡野 賢二
ウルドゥー語	萬宮 健策
ヒンディー語	水野 善文
アラビア語	青山 弘之
ペルシア語	佐々木 あや乃
トルコ語	菅原 睦
ベンガル語	丹羽 京子
日本語	阿部 新
ウズベク語	島田 志津夫

## ◆ 2022年度 地域代表教員 一覧

地域名	地域代表教員
北西ヨーロッパ	伊東 剛史
北アメリカ	大鳥 由香子
オセアニア	山内 由理子
アフリカ	大石 高典
中央ヨーロッパ	篠原 琢
西南ヨーロッパ	小田原 琳
イベリア	久米 順子
ラテンアメリカ	内山 直子
ロシア	巽 由樹子
中央アジア	木村 暁
日本	
東アジア	藤井 豪
東南アジア	宮田 敏之
南アジア	東城 文柄
中東	青山 弘之



## 単位認定申請に必要な提出書類について

留学後の単位認定申請に必要な書類は以下からダウンロードしてください。  
説明書や見本をよく読んで書類を作成してください。

○言語文化学部生・国際社会学部生用デジタル版単位認定申請書

[http://www.tufs.ac.jp/documents/student/studyabroad/haken/eo\\_tannininteishinsei.xlsx](http://www.tufs.ac.jp/documents/student/studyabroad/haken/eo_tannininteishinsei.xlsx)

(「本学 HP トップ」>「在学生の方へ」の左下「留学案内」の「派遣留学」>「交換留学  
(派遣)に関連する必要書類等」>「ページ中段あたり」)

上記のうち提出必要書類

- ・申請書
  - ・別紙 1 (振替認定用)・別紙 2 (関連科目認定用)
- ※別紙 1・別紙 2 は両面印刷をする必要があります。